

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

マハタ

海域	日本海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
----	-----	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各県漁獲情報の集約を実施
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の年間漁獲量と2019年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み（*1）
 - ・秋田県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み。2016～2019年は精査中
 - ・富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2012年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み。2015～2018年は精査中
 - ・鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・島根県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2019年は精査中
 - ・水産資源研では、京都府、兵庫県では漁獲がほぼない、もしくは集計値がないことを確認するとともに、各府県で漁獲量が少なく、多くの府県が1トン未満であることを確認
- *1 漁獲量集計値には、2017年以前はキジハタが含まれる

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：文献から分布情報を収集済み
- (2) 年齢・成長：文献から情報収集中
- (3) 成熟・産卵：文献から情報収集中
- (4) 被捕食関係：文献から情報収集中

(4) 備考

- 漁業現場で区別されている地域でも集計では他種と合算されている可能性がある
- 各地、漁獲量は少なく、モニタリング体制について、再検討が必要
- 漁獲がほぼない地域もあり、日本海における分布の連続性や各地先个体群の遺伝的関係を調べることが重要